

新型コロナウイルス感染予防ガイドライン

～第33回 OHK 杯瀬戸内国際交流新体操大会・東急杯新体操大会2021～

○大会中の具体的な感染防止対策

(1) 基本的な感染症対策

ア、競技会場において、手洗いや咳エチケットなどの基本的な感染症対策を徹底する。

➡来場者は全員 マスクを着用する（選手も競技や練習中以外はマスク着用）

イ、会場出入口に準備している消毒薬や、トイレの石鹸を使用し、適宜手洗いや消毒をする。

ウ、主に参加者の手が触れる場所を消毒用アルコール等で拭き取る。

➡選手の使用する手具や音響機器などの消毒は、各校で準備し行なう。

エ、密閉空間を避けるため、競技場内の対角にある扉を開放しておく。

オ、密集場所を避ける。

➡観覧席は間隔を空けて座ってもらう。

選手が密にならないように、選手席を指定する。

更衣室の利用は短時間にさせ、一斉に利用しないよう指導する。

カ、密接場面を避ける。握手やハイタッチなどの身体接触を避け、近距離での会話や発声はしないようにさせる。➡応援は拍手のみで行なう。

キ、引率者は、大会前に選手の健康状況（検温状況含む）を確認し、体調不良の選手がいた場合には、決められた対応をする。

ク、競技中の水分補給に関しては、チーム共用を避け、個人のものを使用する。

ケ、共有物の適正な管理または、消毒の徹底をする。

コ、原則として入場制限を行う。

➡参加者1名につき家族1人までとする。来場者の名簿を作成し、下記の

「ス」に対応できるようにしておく。また、体調の悪い方の入場は控えてもらう。

➡関係者には「健康チェックシート」に体温や健康状況など必要事項を記入してもらい、当日、提出してもらう。

➡会場内への出入りは試合当日に出場する選手(補欠)及びその保護者、音楽係、コーチ、役員、審判のみとし、終了後はすみやかに退館すること。

サ、バスや公共交通機関を使用して移動する際は、必ずマスクを着用するとともに、可能な限り換気に努めること。

シ、大会に参加した者の中に感染者が出た場合には、その他の参加者に対して連絡をとり、症状の確認、場合によっては保健所などの公的機関に連絡がとれる体制を確保する。

ス、大会に参加した個人は保健所などの聞き取りに協力し、また濃厚接触者となった場合には、接触してから2週間を目安に自宅待機の要請が行われる可能性がある。

(2) 当日、生徒に発熱等の風邪の症状がみられる場合の対応

ア、発熱等の症状がみられる場合、大会出場を認めない。

(各所属団体に指示しておくこと。)

イ、当日、急に症状が出た場合は、保護者及び各所属団体の代表者に連絡し帰宅させる。

ウ、体調不良の選手の健康状況については、引率者から大会事務局に報告する。

エ、引率者は、他の選手等の健康観察を徹底する。

※ その後、コロナウイルスに感染したことが確認された場合は各所属団体や行政機関指示に従い、その経過等については、事務局に報告すること。その後の大会運営について中止することがある。